

ご協力頂き、ありがとうございました。

保護者等向け

児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもお記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	98%	2%			・ 幼児にはちょうど良い。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	98%			2%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94%	3%		3%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	98%	2%			
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	94%	6%			
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	85%	10%		5%	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	98%			2%	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	85%	5%		10%	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	10%	45%	25%	・ 保育園との情報共有してほしい。 →今後の課題として受け止め、各園との交流機会向上・情報共有を目指します。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	98%			2%	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	94%			6%	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	20%	40%	30%	10%	・行っていない、知らない。 →療育時、一緒に活動して頂く事を主としておりますが、今後、別の形でも行えるように検討していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	98%	2%			
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	85%		10%	5%	・利用時に相談、共有頂いている。 →まだまだ支援不足が課題と感じております。2021年度は、定期的に面談を実施していく予定です。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			56%	44%	→開催しておりません。保護者同士の連携に関しまして、イベントを通じて行うなど検討して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	94%		3%	3%	・日程変更の希望について返答が遅い。 →申し訳ありませんでした。明確かつ早急な返答を心がけて参ります。 今後、通年でのクラス確保を設定して参ります。皆様からの希望票を月中で〆切とし、その後、利用日確定、来月のご利用日ご案内という流れで行って参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	3%		3%	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	30%	15%	15%	40%	→2021年4月よりホームページをリニューアルさせて頂きました。 【aigo care】で検索し、ご覧下さい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	94%		3%	3%	・他児の名前の記載があった。 →再発防止を徹底して参ります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	35%	20%	10%	35%	見たことがない。 →各種マニュアル整備しておりますが、店舗掲示となっており、周知・説明は不十分となっております。今後、配布も検討中です。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20%	10%	10%	60%	→上記同様に、訓練内容の周知も考えて参ります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	98%			2%	途中で帰ろうとする姿が見えた。 →スタッフの力不足やお子様の環境や調子が原因と考えられます。本部であるSPARK協会とのオンライン研修等を通じて、より一層スキルアップして参ります。また、児童だけではなく、保護者の皆様も利用が楽しみになる・頼りにしていただける施設に向けて、日々精進して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	98%	2%			

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。